

次号の特集予告

276 巻 2 号 (2021 年 1 月 9 日発行)

IgG4 関連疾患——解明されてきた新たな病態

企画：川 茂幸 (松本歯科大学歯学部内科学)

- ・ IgG4 関連疾患はわが国より発信された新しい疾患概念で、全世界で多くの研究者が精力的に研究を進めている。自己免疫性膵炎と IgG4 との関連、全身性病変との関連の発見が本疾患の疾患概念確立の端緒となった。
- ・ IgG4 関連疾患は諸臓器に分布し、全体像が明らかではないので詳細な疫学は不明である。自己免疫性膵炎の最新の疫学ならびに推測される IgG4 関連疾患の疫学は本症の病態理解に大きく寄与すると考えられる。
- ・ 発生病序の解明に関して新規抗原の発見など進歩が著しい。また、精力的に自然免疫系の検討がされ、IgG4 上昇機序などが明らかになってきた。これらが発生病序の全容解明への有力な道筋を示すことを期待したい。